

Hyogo大好き!

11号
2021年
冬号

兵庫県議会議員

相崎 佐和子

県政活動ニュース



- ▶ 知事に緊急要望! ～新型コロナウイルス感染症の対策～
- ▶ 特別支援の生徒、中学卒業後はどこへ? ～高校の特別支援教育の充実～
- ▶ 信号のLED化で経費削減だ! ～信号灯器のLED化の推進～
- 「第30回 サワコの茶話会」 2月23日(火・祝) / 14:00～16:00 / 東りいたみホール

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、1月13日には兵庫県に緊急事態宣言が再び発出されました。亡くなられた方にお悔やみを、罹患された方に心よりお見舞いを申し上げますとともに、医療福祉従事者はじめ最前線で尽力くださっている方々に深く敬意をと感謝を表します。そして影響を受けている全ての皆様に、不安や不便を抱えながらの感染防止のご協力に感謝を申し上げます。

兵庫県では懸命に対応に当たっていますが、至

らない点・改善点も多々あります。多くの方からお声を頂戴しており、真摯に受け止め反省をしております。県議会議員として「私たちはこれに困っている!」「これをやらなアカン!」と引き続き力強く声を上げてまいります。

皆さんの命と暮らしを守る。今こそ議員の責任と使命を果たします。コロナが終息し、再び安心して笑顔で生活できる日を一日も早く取り戻すべく、全力で取り組みます。



お気軽におこしく下さい!

第30回 サワコの茶話会

普段思っている事などを、ぜひ語りにいらしてください。お会いしてお話させていただけるのを楽しみにしております。お気軽にご参加くださいませ!

- 日時：2021年2月23日(火・祝) 14:00～16:00
- 場所：東りいたみホール 3階 大会議室
- 申込：お名前&連絡先を、メール・電話・FAXなどで



※感染症の状況により、延期する場合があります
※飛び込みやお子様連れも大歓迎です

知事に緊急要望! ~新型コロナウイルス感染症の対策について申し入れ~

「大型投資事業（県庁舎等再整備、コウノトリ但馬空港滑走路延長、大型アリーナ整備）に関する申し入れ」（1月20日付）

@兵庫県議会ひょうご県民連合議員団



兵庫県では、阪神・淡路大震災の影響で悪化した財政を立て直すため行財政構造改革に取り組み、財政再建に一定の成果をあげました。しかし震災関連の県債（借金）は未だ多額であり、厳しい財政状況に変わりはなく、引き続き行財政運営の改善に取り組んでいるところです。そんな中のコロナ禍で県財政は大ダメージを受け、税収の大幅減少が見込まれる中いっそう厳しい行財政運営が求められています。この状況を鑑み、予定していた大型投資事業について、県民感情に寄り添い改めての精査や検討を強く要望しました。

- 1, 県庁舎等再整備（約700億円）について、整備の規模をはじめ事業内容を再精査すること。
- 2, コウノトリ但馬空港の滑走路延長（約400億円）について、県財政状況の回復が十分に見込まれると判断された後に滑走路の延長を慎重に再検討すること。
- 3, 大型アリーナ建設（約500億円）について、事業実施の必要性をはじめ設置の適切な規模・時期・場所に関して県民のニーズの把握に努めること。

* * *

「新型コロナウイルス感染症対策に関する知事への緊急要望」（1月8日付）

@ひょうご県民連合議員団・自由民主党議員団県議団・公明党県民会議議員団

兵庫県では多くの新型コロナウイルス感染症の患者が継続的に確認され、1月13日には緊急事態宣言が再発出されました。病床使用率が70%を超え、患者が入院や宿泊療養施設に入れず自宅待機になるケースが増加するなど、兵庫県の医療体制は逼迫しています。医療体制の強化と感染拡大防止にいっそう努め、県民の命と生活を守るための対策を講じることを、緊急に強く要望しました。

1 医療体制の強化

- (1) 病床確保と宿泊療養施設の活用及びバックアップ体制の充実
- (2) クラスター化した施設への機動的な人的支援体制の構築
- (3) クラスター感染の発生抑制
- (4) 保健所体制の維持

2 緊急事態宣言の再発出に向けて

3 円滑なワクチン接種

* * *

「市町と連携した「安心な暮らしの実現」に向けた施策の充実に関する申し入れ」（1月20日付）

@ひょうご県民連合議員団・自由民主党議員団県議団・公明党県民会議議員団

未だ終息の見えない新型コロナウイルス感染症との闘いは、私たちの生活や経済に深刻な影響をもたらし、大きな不安を与えています。特に、子どもを産み育てることに不安や悩みを抱える方、ご高齢の方、障がいのある方の支援は急務であり、各施策を市町を連携して力強く取り組むことを要望しました。

- 1, 在宅育児支援策の充実を図ること。
- 2, 不妊に悩む夫婦の健やかな妊娠・出産のための支援策を充実すること。
- 3, がん治療中・治療後も安心して就労や社会参加できるための施策を充実すること。
- 4, 誰もが安心して必要な医療サービスが受けられる環境の充実を図ること。
- 5, 白血病など血液難病で苦しむ人たちがひとりでも多く救われるための支援策を充実すること。

※各要望事項は集約記載しています

相崎
コメント

新型コロナウイルス感染症の対策について、多くのご意見を頂戴しています。特に重要な事・緊急を要する事について会派でまとめ、知事に緊急要望として申し入れをしました。一つでも多くの政策を少しでも早く実現できるよう力を尽くします。ただ、訴えねばならない事柄がまだまだ山積です。申し入れはじめ本会議や委員会など様々な場面で引き続き強く提案します。

9月定例会 本会議での質問

昨年の9月定例会にて本会議質問した内容を、2回に分けてご報告します。(今号は後半です)



特別支援の生徒、中学卒業後はどこへ？ ～高校の特別支援教育の充実～

Q 障がいなどで特別な支援を必要としている中学生をもつ保護者の方々と懇談させていただく機会がありました。一様に中学卒業後について悩まれていました。進路の1つは特別支援学校の高等部です。個々に応じた支援を享受できて卒業後の進路のサポートも丁寧である一方、高校卒業資格ではなく特別支援学校の卒業資格となることや、高校3年間は障がいのない同年代の生徒との関わりが薄れるとの不安があります。進路は高校です。同年代の生徒たちと同じ環境で高校生活を過ごすことができる一方、高校入学のハードルが高く入学できても個に応じた支援を受けられないかもしれない不安があります。他にも通信制学校・専門学校・職業訓練校などがありますが、いずれの進路も心配面が存在すること。そこで、①特別に支援を必要とする中学生が希望すれば公立高校を受験することが可能な体制の整備、②公立高校における特別支援教育の充実、③公立高校の通級指導(2018年度～)の充実、が必要だと考えますが県教育委員会の見解は？

A 入学者選抜は、障害の状態に応じて受験時間延長・キーボード活用など配慮。入学後は、支援計画の作成・エレベーターやスロープなどハード整備など実施し、重度障害は支援員を配置(現在12名)。県立高校では全教員に特別支援教育の基礎知識や技能の研修を実施。通級指導(障害に応じた特別な指導を別教室で受ける)は、各学区2校以上計15校で実施中。同年代や地域との繋がり、学校行事や共同学習を取り組み中。今後、通級については国への加配教員の要望、実施校の増加をしたい。

相崎コメント 特別に支援を必要としている生徒ははじめ全ての中学生が、望む進路をチャレンジできるように、豊かな高校時代を満喫できるようにしたいと思っています。まだまだ改善できる事柄があるはず。インクルーシブ教育(分け隔てることなく一緒に学ぶ)の概念のもと、意識と制度の両方において 改善を重ねていくつもりです。

信号のLED化で経費削減だ！ ～信号灯器のLED化の推進～

Q 信号灯器のLED化を進めたいと考えています。メリットは大きく3点。1点目は「エネルギーの削減」(従来の電球式→LED式で消費電力が約1/7!)、2点目は「メンテナンスの簡素化」(電球式:2年で球を交換→LED式:交換は不必要!)、3点目は「安全性の向上」(電球式→LED化で朝日や夕日が当たった際などでも点灯色が確認しやすい!) そんなLED化の達成率、全国平均58%に対して兵庫県は34.5%(2018年度)で、全国ワースト4位です。LED化を経費削減の観点で考えてみましょう。電気料金:LED化により消費電力が1/7になるので電気料金も現在より安価になります。

切り替え経費: イニシャルコストはランニングコスト削減分でペイできます(街路灯などで実証済み)

メンテナンス経費: 現在は2年に1度電球を交換しており年間9000万円を表しているがこれが不要になります

メリットが多々あるとともに経費削減になる信号灯器のLED化、予算をつけて一気に進め、中長期スパンでの経費削減につなげたいと考えます。そこで、①達成率全国ワースト4位の現状をどう捉えているのか、②来年度はLED化推進経費の予算化をと考えるがいかがか？

A 交通量の多い交差点や主要幹線道路などを重点にLED式信号灯器の整備を推進中。国道2号・43号のLED化率はほぼ100%だが、県下全体では全国平均を大きく下回っている。交通安全施設等整備費・公共施設等適正管理事業費に加えて未就学児の集団移動経路の交通安全対策に係る国庫補助事業を活用してLED化を進めてきたが、更なる計画的、積極的な整備が必要であり予算の確保に努める。

相崎コメント 信号灯器のLED化、中長期スパンで試算すれば経費削減になるんです!切り替えに経費は要しても数年でモトが取れるのですから、経費をかけてでも一気にLED化を進めるのが賢明です。進捗率が全国ワースト4位とはなんとも。。。これからも粘り強く提案し続けます。

●知事に提言! ~来年度予算要望~

11月11日、知事などへ会派から来年度予算について、9テーマ206項目を要望しました。私からは、県単独・県市町連携補助事業の継続(市町が困るので)、自転車事故対策のとして警察取り締まりの強化などを要望。地元伊丹市からの切実な意見を取り上げました。



●市長と懇談! ~市政懇談会~

11月10日、伊丹市の市長・教育長などと県議会議員(伊丹市選出の3人)で来年度予算などを懇談。コロナ対策、空港問題、病院問題、教育課題…様々な意見を交換しました。県と市の連携は重要。これからも力強く連携していきます。伊丹市との懇談は古巣に戻った気がして楽しいです。



●オンラインで大規模勉強会!
~LM推進連盟の関西勉強会~

12月13日、相崎が共同代表を務める「ローカル・マニフェスト推進連盟」で関西勉強会を開催。途中でオンライン開催に変更するなど準備に追われましたが、豪華メンバーによる素晴らしい取り組みの発表で大盛況。司会進行をしながら私自身、コロナ禍での議会のあり方など大いに勉強になりました。



●消毒ロボットは優秀!
~健康福祉委員会の調査~

10月29日、健康福祉常任委員会で淡路・東播磨地域を調査。淡路医療センターでは紫外線UV照射ロボットを見学。県議会議員の報酬などを削減して県立病院9ヶ所に導入したもので、5分の紫外線自動照射でウイルスなどが駆除可能。医療従事者の皆さんの負担軽減・消毒回数の増加につながりました。



●一時保護の充実が急務!
~会派の調査~

12月14~15日、会派で明石・淡路方面を調査。兵庫県中央子ども家庭センター(児童相談所)@明石市では、増加する一時保護の受け入れがパンク状態。ソフトの充実、ハードの再整備、職員の待遇改善などの必要性を再認識。一時保護施設を追加設置する話もあり。ぜひ阪神間に!



●スマート農業は県がサポートを!
~みどり公社 会議~

12月21日、顧問を務める「兵庫県みどり公社」で県内調査&意見交換。加西市にある「兵庫ネクストファーム」では徹底した環境管理下でのトマト栽培を見学。こういうハイテクを駆使した農業(スマート農業)は、県がノウハウなどをサポートする必要性を実感しました。



~Profile~

- 1973年3月生
- 親和女子高校 ●奈良教育大学 ●〃大学院(政治学ゼミ)
- ORIXブルーウエーブ マスコットガール
- 地元ケーブルテレビ(現:ペイコム)アナウンサー
- 第12代兵庫県広報専門員
- 伊丹市議会議員(3期) ●第61代 伊丹市議会議員
- 阪神市議会議長会 会長
- 兵庫県議会議員(1期目)
- ローカルマニフェスト推進連盟 共同代表
- 出産議員ネットワーク 関西代表
- 第11回マニフェスト大賞優秀賞 受賞
- 小学校・中学校(社会)・高校(地理歴史) 教員免許
- 家族:夫・長女(中3)・次女(小5)

情報はここから

- ★ホームページ▶<http://sawako-aizaki.com>
- ★ブログ▶<https://sawako-aizaki.hatenablog.com/>
- ★Facebook▶
<https://www.facebook.com/sawako.aizaki>
- ★ツイッター ★インスタグラム

活動ニュース

バックナンバーは上記HPに。郵送希望はご連絡を

連絡先

発行元: 相崎佐和子
伊丹市西台2-5-11 松屋ビル2階
電話▶(072) 768-9260
FAX▶(072) 768-9261
メール▶sawako.aizaki@gmail.com